



えがお

子どもを中心に輪を広げませんか あんしん

子どもの居場所づくり シンポジウム

ふれあい

つながる

まなべる

たべる

イベント概要

日時：2019年2月24日（日）
14時～16時30分
（受付13時30分～）

会場：ひと・まち交流館 京都
3階 第4・5会議室

費用：無料

定員：100名 ※先着

交通機関

- 市バス 4、17、205「河原町正面」すぐ
- 京阪「清水五条」徒歩 8 分

- 主催：京都市福祉ボランティアセンター
- 共催：各区社会福祉協議会、各区ボランティアセンター
- 後援予定（京都市）



【基調講演】



のじり き え

野尻 紀恵 氏（日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授）

子ども食堂（子どもの居場所）実践の役割とその効果についてなど、
講師が実践される取組から見てきたことも交えながらお話しいただきます。

【実践報告】

あおいこども食堂

指定障害福祉サービス事業所（就労B型）ハッピーハウス葵
左京区下鴨・葵地域にて、
2016年5月よりスタートした実践。
「こども食堂」ですが「障害のある
人が働く作業所」にも「配食サービ
ス拠点」にもなっています。
地域団体や大学生ボランティア、
様々な立場の人たちが一緒に活動
されています。

嵐山子ども食堂

右京区嵐山地域にて、2015
年11月よりスタートした実践。
「美味しいから食べに来た」「何
か手伝いたい」「役に立ちたい」な
ど、実践を知った人たちのさまざま
思いを受け止めながら活動されて
います。

（調整中）

京都市の子ども食堂実施団体へのアンケート調査「子ども食堂はいま」（調査期間：2018年12月～2019年1月）
京都市内で広がりを見せている「子ども食堂（子どもの居場所）」の取組に関し、
各区社会福祉協議会との連携にて実態調査を行いました。シンポジウム内でアンケートのまとめを報告します。

子どもの居場所・・・

現在、京都市内において70か所以上で取り組まれています。
子ども、母親、父親、地域住民、実践者にとって、「安心して過ごせる場」
「自分が自分でいられる場」「つながれる場」など食の提供以外の役割を発揮しているといわれています。
今、子どもたちにおきていること・・・貧困、不登校、核家族、孤食・・・
どの子どもも地域で「見守り」「育てる」、子どもたちが「子どもらしさを発揮できる」、
そのような「子どもの居場所」づくりについて、基調講演や市内で現在取組んでいる実践団体の報告
からぜひ知ってください。
このシンポジウムからあなたの「子どもの居場所」をイメージしてみませんか。

申込方法／問い合わせ先

○申込方法○

メール・電話・FAXにて、
氏名・電話番号・所属又は団体名
・E-Mail（あれば）をお知らせください。
【1月28日（月）～先着にて受付】

○申込先／問い合わせ先○

京都市福祉ボランティアセンター
電話：075-354-8735
FAX：075-354-8738
E-Mail：v.info@hitomachi-kyoto.jp

ふりがな

氏名：

電話番号：

所属・団体名：

E-Mail：